

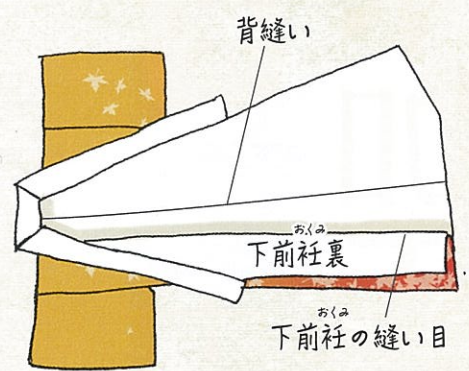
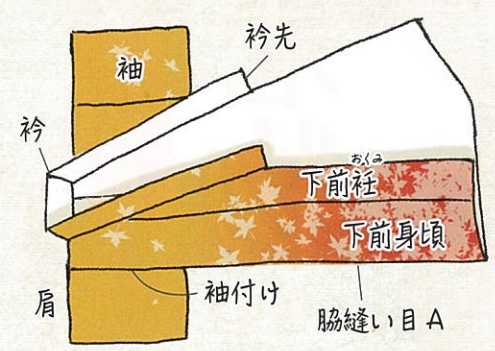


お片づけ篇

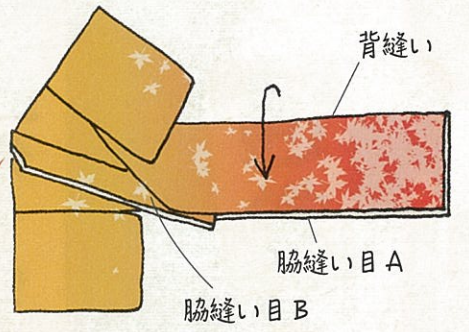
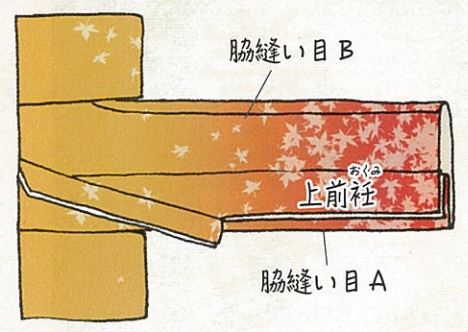
2017.10月 発行:松岡屋

## きものたたみ方

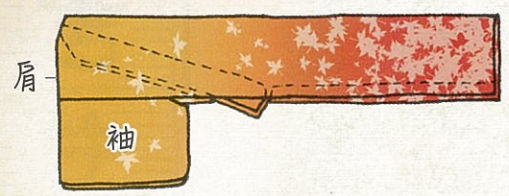
- 1 衿の方を左側にして、脇縫い目Aに沿って折り、裾の方を整える。
- 2 下前衿の縫い目に沿って手前に折り返す。



- 3 2で折り返した下前衿裏に上前の衿を重ねる。
- 4 背縫いの部分を折り目にして、脇縫い目Bを脇縫い目Aに重ねる。

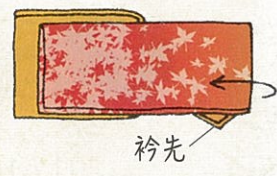


- 5 衿を内側にして、両袖と両肩を重ねる。手のひらで全体のシワを伸ばす。



衿にシワが寄りないように気を付ける

上の袖を袖付けの所で身頃側にたたむ。下の袖は上の袖の反対にたたむ。



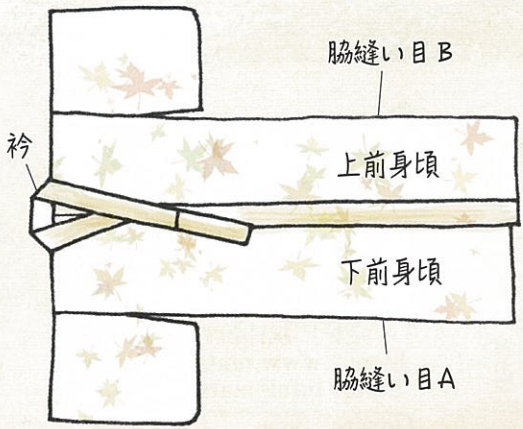
内側にシワが寄りないように、衿先あたりで折りたたむ。

**ポイント**  
衿は背縫いを中心に三角形になるように内側にたたみ、左右の衿を重ね合わせる。

できあがり

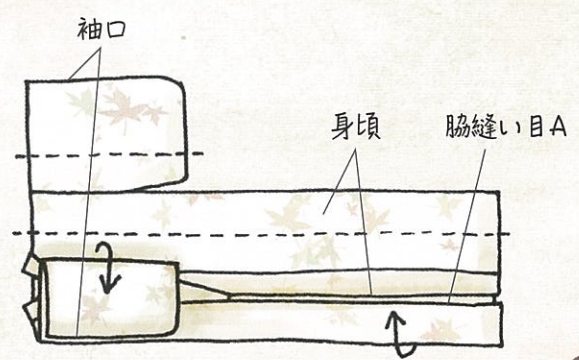
## 長襦袢のたたみ方

- 1 衿の方を左側にして広げる。下前身頃を脇縫い目Aで折る。上前身頃も脇縫い目Bで折る。



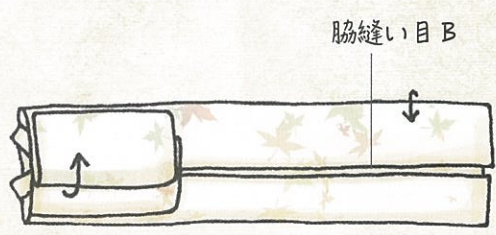
首の後ろ側の衿を矢印のように、内側にたたむ。

こつすることによって衿のまわりに細かいシワが寄りにくい。



脇縫い目Aが、長襦袢の中心に来るように内側にたたむ。袖口を外側に折り返し身頃の折り目に沿わず。

- 4 3と同様に上前身頃もたたむ。
- 5 図のように長襦袢を二つにたたむ。



袖にシワが寄りないように気を付ける



できあがり